

地域の活性化に向け、交流人口拡大に資する観光振興事業を支援しています。

MENU

□ 観光関連産業の事業化支援・成長支援

・日本版DMOを中心とした観光地域づくりへの支援および古民家再生・活用、着地型ツアーの企画、観光ガイドの育成等により観光誘客に取り組む観光関連事業者への支援などを通じ、観光関連産業の成長を支援しています。

□ インバウンド推進支援

・地域の交流人口拡大に向けたインバウンドの推進や観光コンテンツの開発などに取り組む事業者を支援しています。

□ MICEへの協賛

・当行は様々なMICEに対し、積極的に協賛しています。

※MICE：企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（Incentive Travel）、国際機関・学会等が行う国際会議（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition / Event）の頭文字で、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。

PICK UP

「FINE+東北」の取組み

2017年3月、青森銀行、秋田銀行、岩手銀行、山形銀行、東邦銀行および日本政策投資銀行と「観光振興事業への支援に関する業務協力協定」を締結し、東北観光金融ネットワーク（愛称「FINE+東北」）を設立しました。

活動の一環として、全国各地の古民家等の歴史的資源を、宿泊施設や飲食店等の観光コンテンツのひとつに利活用している背景・現状の調査をもとに、東北の課題を整理したうえで参考となるポイントをまとめたレポート「東北における歴史的資源の活用に向けて」を発行しました。



● クラウドファンディングを活用した「阿武隈急行沿線活性化」支援

福島市と宮城県柴田町を結ぶ阿武隈急行の沿線地域活性化を目的に、阿武隈急行沿線の大学、民間事業者および関係地方公共団体等と連携のうえ、クラウドファンディングを活用し「はちみつビール」を製造する資金調達プロジェクトに取り組みました。



● 「むつめくTOHOKUラボ」の立ち上げ

2018年3月、東北観光金融ネットワーク（愛称「FINE+東北」）、仙台三越、東北博報堂の三者で、地域産業の発展等を目的とした業務協力協定を締結し、「むつめくTOHOKUラボ」を立ち上げました。

東北の地域資源を活用した加工品・工芸品等の発掘や、新たな地域ブランドへの磨き上げと販売促進を通じた地域産業の発展・観光振興に取り組んでいます。



● 「えぼしリゾート」への支援

当社は、宮城県内のスキー場で最大規模の集客を誇る「みやぎ蔵王えぼしスキー場」を運営していますが、地域観光の主要拠点であることからウインターシーズンにおいて気候条件に依存しない営業体制の構築を目指しており、その一環として人口降雪機等を整備しました。

当行は、事業計画の策定段階から協力するとともに、東北観光金融ネットワークに参加する日本政策投資銀行と連携し、共同出資するファンドを活用した融資を実行するなど、当社の課題解決に向けた支援を行っております。

天候不順

人材不足

スキー人口
の減少

宮城県内で最大規模の集客を誇る「みやぎ蔵王えぼしスキー場」
スキー場開業40周年を迎え地域観光の主要拠点としての役割が求められている。

宮城蔵王観光株式会社

(宮城県刈田郡蔵王町、1966年10月設立)

スノーシーズンの集客に加え、夏のトレッキングや
秋の紅葉など通年で楽しめるリゾート施設を目指し
ています。

- 観光資源の
充実・魅力
向上
- 観光産業の
生産性向上

・蔵王エリア
の市町
・DMO

連携促進

投資実行
人工降雪機・
関連設備整備費用

事業計画策定支援

ビジネスマッチング

人材紹介

事業性評価の実施

事業内容・成長可能性の評価
経営課題の共有

みやぎ復興・地域活性化支援ファンド



日本政策投資銀行

FINE+東北：東北観光金融ネットワーク
(青森銀行、秋田銀行、岩手銀行、山形銀行
七十七銀行、東邦銀行、日本政策投資銀行)

情報共有
連携

七十七銀行

